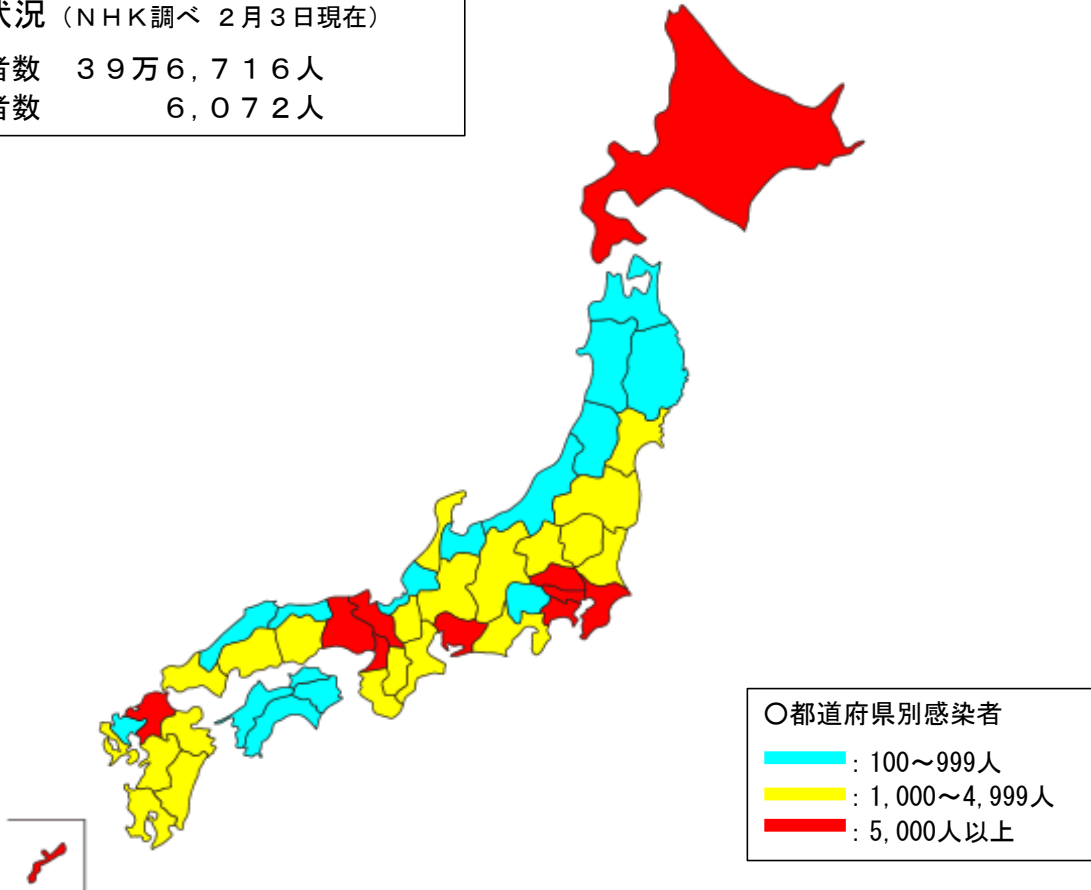


全国の感染状況

全国の状況（NHK調べ 2月3日現在）

感染者数 39万6,716人
死亡者数 6,072人

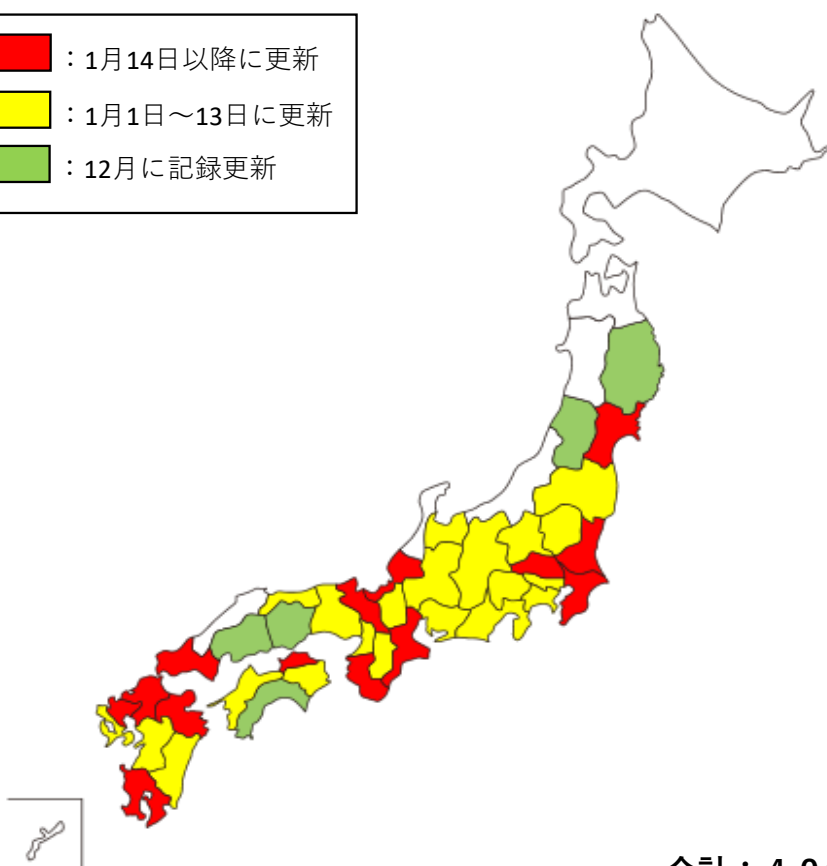
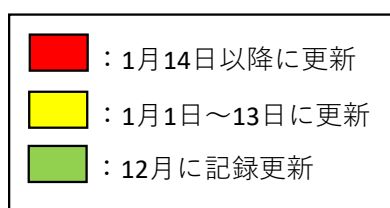


都道府県	感染者	死亡者	都道府県	感染者	死亡者	都道府県	感染者	死亡者
北海道	17,720人	611人	福井県	517人	20人	山口県	1,272人	24人
青森県	730人	13人	山梨県	907人	15人	徳島県	389人	15人
岩手県	505人	28人	長野県	2,314人	38人	香川県	668人	15人
宮城県	3,436人	22人	岐阜県	4,224人	70人	愛媛県	997人	21人
秋田県	266人	3人	静岡県	4,654人	80人	高知県	851人	14人
山形県	513人	13人	愛知県	24,342人	420人	福岡県	16,434人	200人
福島県	1,750人	50人	三重県	2,259人	32人	佐賀県	965人	6人
茨城県	4,914人	68人	滋賀県	2,180人	33人	長崎県	1,540人	32人
栃木県	3,803人	49人	京都府	8,609人	125人	熊本県	3,360人	63人
群馬県	3,969人	71人	大阪府	44,355人	958人	大分県	1,191人	17人
埼玉県	25,849人	378人	兵庫県	16,782人	430人	宮崎県	1,862人	20人
千葉県	22,933人	271人	奈良県	3,052人	40人	鹿児島県	1,640人	19人
東京都	101,466人	949人	和歌山県	1,085人	15人	沖縄県	7,691人	92人
神奈川県	41,403人	513人	鳥取県	204人	2人			
新潟県	928人	12人	島根県	273人	0人			
富山県	876人	27人	岡山県	2,366人	24人			
石川県	1,484人	58人	広島県	4,857人	94人			

12月1日以降、1日あたり最大感染者数を更新した都道府県

(発表日ベース)

2月3日現在



合計：40都府県

都道府県	感染者数 (更新日)
岩手県	43人 (12/12)
宮城県	87人 (1/14)
山形県	22人 (12/12)
福島県	46人 (1/10)
茨城県	159人 (1/15)
栃木県	150人 (1/8)
群馬県	100人 (1/8)
埼玉県	582人 (1/16)
千葉県	504人 (1/15)
東京都	2,447人 (1/7)
神奈川県	995人 (1/9)
富山県	32人 (1/6)
福井県	25人 (1/15)
山梨県	36人 (1/8)
長野県	79人 (1/7)
岐阜県	105人 (1/9)
静岡県	127人 (1/10)
愛知県	431人 (1/7)
三重県	54人 (1/22)
滋賀県	57人 (1/9)

都道府県	感染者数 (更新日)
京都府	154人 (1/17)
大阪府	654人 (1/8)
兵庫県	324人 (1/9)
奈良県	56人 (1/8)
和歌山県	24人 (1/20)
鳥取県	15人 (1/6)
岡山県	111人 (12/20)
広島県	141人 (12/25)
山口県	88人 (1/18)
徳島県	35人 (1/12)
香川県	37人 (1/15)
愛媛県	38人 (1/8)
高知県	36人 (12/15)
福岡県	411人 (1/16)
佐賀県	35人 (1/15)
長崎県	60人 (1/9)
熊本県	101人 (1/8)
大分県	33人 (1/21)
宮崎県	105人 (1/7)
鹿児島県	59人 (1/20)

新型コロナウイルス感染症対策本部（第54回）

日時：令和3年2月2日（火）

19時00分～19時20分

場所：官邸2階 大ホール

議 事 次 第

1. 開 会

2. 議 事

（1）新型コロナウイルス感染症への対応について

3. 閉 会

（配布資料）

資料1 厚生労働省提出資料

資料2 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の期間延長及び区域変更

資料3-1 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の改訂について（概要）

資料3-2 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針変更案（新旧対照表）

資料3-3 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針変更案

資料4 緊急事態宣言の延長等を踏まえた経済支援策の全体像

参考資料 緊急事態宣言下での対策の徹底・強化についての提言

（令和3年2月2日（火）新型コロナウイルス感染症対策分科会）

<感染状況について>

- ・ 全国の新規感染者数は、報告日ベースでは、1月11日には、直近一週間では10万人あたり約36人に達したが、1月中旬以降減少傾向となっており、直近の1週間では10万人あたり約19人となっている。(発症日ベースでは、1月上旬以降減少傾向)
実効再生産数：全国的には、1月中旬以降1を下回っており、直近で0.80となっている(1月15日時点)。1都3県、大阪・兵庫・京都・愛知・岐阜、福岡、栃木では、概ね1を下回る水準が続いている。(1月16日時点)
- ・ 入院者数は減少がみられるが、重症者数、死亡者数は引き続き過去最多の水準。新規感染者数の減少が入院者数、重症者数の減少につながるには一定の期間が見込まれ、対応を続けている保健所や医療機関の職員はすでに相当疲弊し、業務への影響が懸念される。多数の感染者数の発生が続く中、新型コロナウイルスの診療と通常の医療との両立が困難な状況が続いており、救急対応への影響が見られる事例などが生じているほか、病床の逼迫により入院・療養等調整中となる事例も依然として多数見られている。また、高齢者施設でのクラスター発生事例も増加。

【地域の動向】

- ①首都圏 東京都では、新規感染者数は減少が続く、宣言期間中のピークの1/2を下回り、直近の一週間では10万人あたり約43人となっている。医療提供体制は非常に厳しい状況が継続し、救急対応にも影響が出ている。自治体での入院等の調整が厳しい状況も継続。神奈川県、埼玉、千葉でも新規感染者数は減少傾向であり、人口10万人あたりそれぞれ約30人、約25人、約33人となっている。いずれも医療提供体制は厳しい状況。
栃木では、新規感染者数の減少が続く、直近の一週間では10万人あたり約11人まで減少。病床使用率は低下傾向であるが、医療提供体制の負荷への影響について、引き続き注視する必要がある。
- ②関西圏 大阪では、新規感染者数の減少が続いており、直近の一週間では10万人あたりステージⅣの指標となっている25人に近づく約26人となっている。一方、医療提供体制や自治体での入院調整は厳しい状況が継続。また、高齢者施設等でのクラスターが継続的に発生。兵庫、京都でも新規感染者数は減少傾向であり、人口10万人あたりそれぞれ約20人、約27人となっているが、医療提供体制は厳しい状況。
④中京圏 愛知では、新規感染者数の減少が続いており、直近の一週間では、10万人あたり約16人となっている。岐阜でも新規感染者数の減少が継続し、直近の一週間では10万人あたり約14人まで減少。いずれも、医療提供体制は厳しい状況である。新規感染者数の減少に伴う医療提供体制の負荷への影響について、引き続き注視する必要がある。
- ⑤九州 福岡では、新規感染者数の減少が続いており、直近の一週間では、10万人あたり約22人となっている。医療提供体制は厳しい状況である。新規感染者数の減少に伴う医療提供体制の負荷について、引き続き注視する必要がある。
- ⑥上記以外の地域 茨城では、新規感染者数の減少が続いているが、直近一週間で10万人あたり15人を超えている。また、沖縄では、減少の動きが見られるものの、宮古島での感染拡大もあり、10万人あたり35人を超える水準となっており、医療提供体制は、非常に厳しい状況。

【変異株】

- ・ 英国、南アフリカ等で増加がみられる新規変異株は、国内では、海外渡航歴のある症例及びその接触者に加え、国内での2次感染によると考えられる、海外渡航歴のない者から変異株が発見されている事例も生じている。従来株と比較して感染性が高い可能性があり、国内で持続的に感染した場合には、現状より急速に拡大するリスクがある。英国株については、変異による重篤度への影響も注視が必要。

<感染状況の分析>

- 年末年始の新規感染者急増のあと減少傾向となり、飲食店での感染は減少しているが、医療機関・福祉施設を中心とした感染・クラスターが全国的に発生している。発症日別の感染者数の年明けからの全国的な急増については、20-50才台が多かったが、その後減少した。しかし、80代、90代では減少がみられおらず、重症者や死亡者が増加する可能性があり、動向に注意が必要。また、年末年始の感染者数や陽性率の動きは、忘年会等での感染等の影響等や帰省による世代間の伝播、帰省や仕事始めの前に検査受診が増えたことも考えられるが、引き続き分析が必要。
- 年末年始にかけて、地理的にも、都市部から周辺地域へという形で感染が拡大したことも踏まえると、大都市における感染を抑制する対策を継続することが、地方での感染を抑えることにも有効である。

※直近1週間の新規感染者数は、東京都だけで全国の1/4弱を占め、1都3県で1/2強を占めている。また、緊急事態宣言下の11都府県で新規感染者数の8割弱を占めている。

<必要な対策>

- 1月7日には東京をはじめとする首都圏(1都3県)に、1月13日には関西圏、中京圏、福岡、栃木の2府5県に緊急事態宣言が発出された。飲食店等に着目した今般の取組への協力もあり、これらの地域では、新規感染者数は減少傾向となっている。特に、栃木県では、人口10万人あたり15人を下回っており、医療提供体制や公衆衛生体制の負荷への影響について、引き続き注視する必要があるが、病床使用率も低下傾向となっている。重症者数、死亡者数を増加させないためにも、引き続き新規感染者数を減少させる取組が必要。また、感染拡大の核となる場や影響の変化にあわせた取組も検討すべき。
- 緊急事態措置については、減少傾向を確かなものとするため、対策の徹底が必要。また、今後措置の対象でなくなっても、直ちに急速な再増加につなげないことが重要であり、引き続き感染者数を減少させるための取組が必要。一方、入院者数、重症者数が引き続き発生する状況も想定される中で必要な医療提供体制の確保が必要。また、宿泊療養の効率的な活用や医師会等へのフォローアップの委託や効率的なモニタリングなど自宅療養の環境整備を進めることが必要。併せて、検査体制の更なる強化に取り組むべき。
- 福祉施設および医療機関における感染拡大を阻止する取り組みが必要である。施設等における感染予防、拡大防止、検査による感染の早期発見や発生時に備えた対応、発生時の対応の強化に取り組むとともに、現場で実際に対応に対応につなげる支援を図るべき。手引きや動画などによる自主点検や様々な政府の支援策を活用すること、専門家の派遣体制を構築することが求められる。
- 変異株国内流入の監視のため、リスク評価に基づき検疫体制の強化が必要である。また、国内での変異株検査体制も強化して、感染者が見つかった場合には積極的疫学調査の実施が求められる。併せて、引き続きゲノム分析の実施が必要。個人の基本的な感染予防策は、従来と同様に、3密の回避、マスクの着用、手洗いなどが推奨される。

直近の感染状況等

○新規感染者数の動向（対人口10万人(人)）

	1/12～1/18	1/19～1/25	1/26～2/1	○検査体制の動向(検査数、陽性者割合)		
	1/4～1/10	1/11～1/17	1/18～1/24			
全国	33.10人 (41,757人) ↓	26.13人 (32,966人) ↓	18.44人 (23,271人) ↓	407,529件 ↑10.7% ↓	424,725件 ↑9.8% ↓	475,366件 ↑7.4% ↓
東京	75.50人 (10,511人) ↓	56.27人 (7,834人) ↓	41.13人 (5,726人) ↓	79,433件 ↑15.6% ↑	88,047件 ↑12.0% ↓	93,010件 ↑9.1% ↓
神奈川	66.38人 (6,106人) ↑	46.05人 (4,236人) ↓	28.33人 (2,606人) ↓	35,101件 ↑13.9% ↓	30,142件 ↓19.4% ↑	35,464件 ↑13.7% ↓
愛知	23.93人 (1,807人) ↓	19.95人 (1,507人) ↓	15.59人 (1,177人) ↓	17,335件 ↑13.4% ↓	16,519件 ↓11.2% ↓	17,128件 ↑9.2% ↓
大阪	40.80人 (3,594人) ↓	36.34人 (3,201人) ↓	24.67人 (2,173人) ↓	34,828件 ↑10.6% ↑	33,269件 ↓11.0% ↑	39,962件 ↑8.4% ↓
北海道	20.78人 (1,091人) ↑	15.56人 (817人) ↓	14.57人 (765人) ↓	19,160件 ↑5.4% ↑	19,668件 ↑5.6% ↑	20,059件 ↑4.3% ↓
福岡	40.52人 (2,068人) ↓	31.15人 (1,590人) ↓	20.14人 (1,028人) ↓	19,249件 ↑10.4% ↑	22,502件 ↑9.2% ↓	26,288件 ↑6.2% ↓
沖縄	35.99人 (523人) ↑	40.67人 (591人) ↑	36.48人 (530人) ↓	4,770件 ↑9.5% ↑	6,988件 ↑7.1% ↓	8,317件 ↑7.4% ↑

○入院患者数の動向（入院者数(対受入確保病床数)

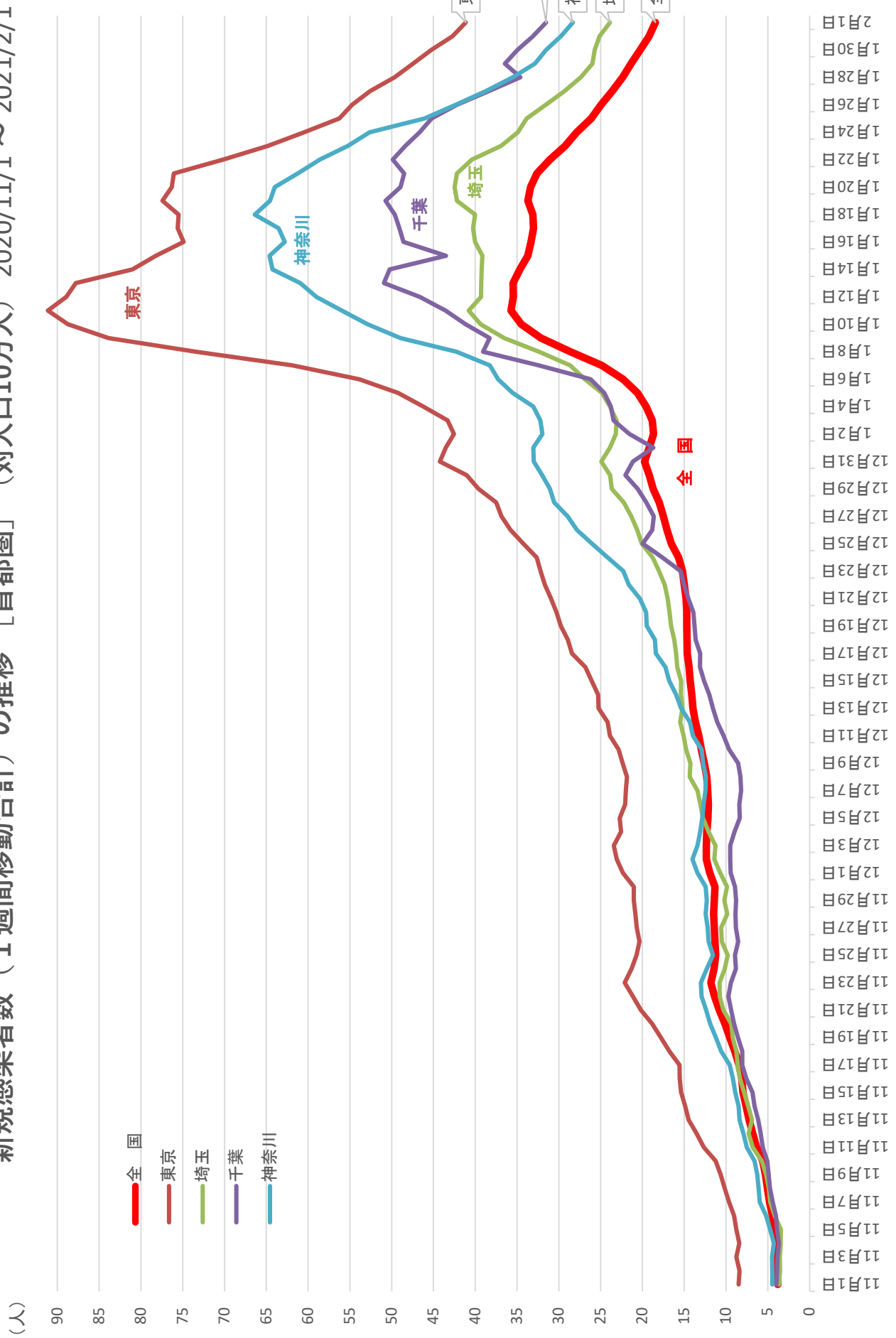
	1/13	1/20	1/27	○重症者数の動向（入院者数(対受入確保病床数)		
	1/13	1/20	1/27			
全国	14,825人 (53.5%) ↑	14,724人 (52.8%) ↓	14,417人 (51.7%) ↓	1,424人 (39.9%) ↑	1,505人 (41.8%) ↑	1,569人 (43.3%) ↑
東京	3,345人 (83.6%) ↑	2,957人 (73.9%) ↓	2,933人 (73.3%) ↓	523人 (104.6%) ↑	535人 (107.0%) ↑	567人 (113.4%) ↑
神奈川	829人 (42.8%) ↑	938人 (48.4%) ↑	928人 (59.7%) ↓	102人 (51.0%) ↑	111人 (55.5%) ↑	105人 (55.3%) ↓
愛知	702人 (63.7%) ↑	697人 (63.2%) ↓	718人 (65.2%) ↑	51人 (49.5%) ↑	54人 (43.2%) ↑	67人 (53.6%) ↑
大阪	1,149人 (71.7%) ↑	1,198人 (74.8%) ↑	1,211人 (68.2%) ↑	261人 (65.7%) ↑	256人 (64.5%) ↓	270人 (64.0%) ↑
北海道	725人 (40.0%) ↓	708人 (39.1%) ↓	704人 (38.9%) ↓	12人 (6.6%) ↓	13人 (7.1%) ↑	18人 (9.9%) ↑
福岡	489人 (80.2%) ↑	507人 (79.1%) ↑	572人 (84.5%) ↑	19人 (17.3%) ↓	27人 (24.5%) ↑	35人 (31.8%) ↑
沖縄	236人 (50.3%) ↑	320人 (68.2%) ↑	368人 (78.5%) ↑	27人 (50.9%) ↑	30人 (56.6%) ↑	38人 (71.7%) ↑

※「入院患者数の動向」は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況、病床数等に関する調査」による。この調査では、記載日の0時時点で調査・公表している。

重症者数については、8月14日公表分以前とは対象者の基準が異なる。また、同調査(令和3年1月29日公表)では、東京都の重症者の受入確保病床利用率について、「重症者数567は本調査のために国基準で集計されたものであり、確保病床数500と単純に比較できない。」とされている。

○ ↑は前週と比べ増加、↓は減少、→は同水準を意味する。

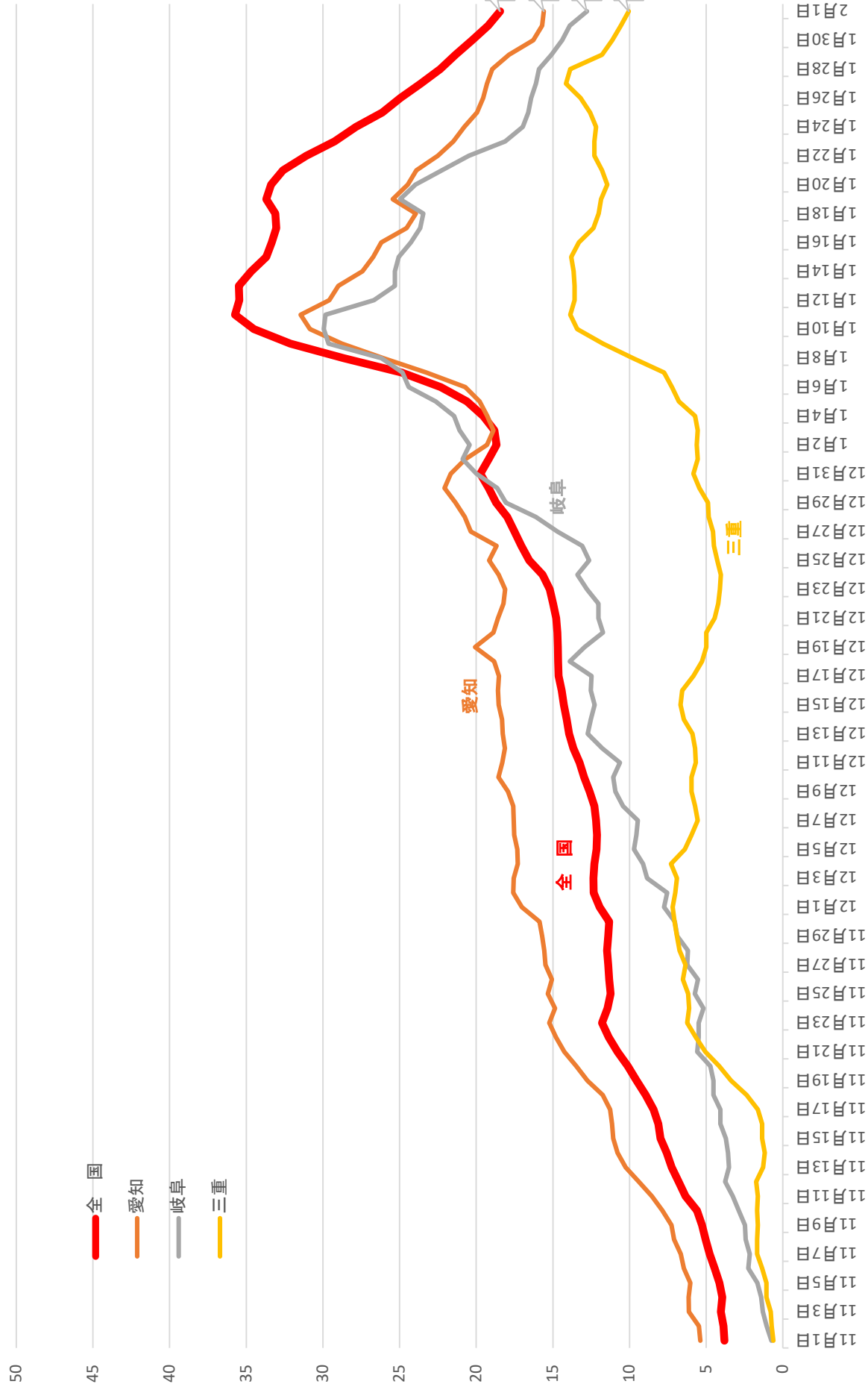
新規感染者数（1週間移動合計）の推移 [首都圏]（対人口10万人） 2020/11/1 ~ 2021/2/1



※人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している

新規感染者数（1週間移動合計）の推移 [中部]（対人口10万人） 2020/11/1 ~ 2021/2/1

(人)



※ 人口10万対の人数は、令和元年10月1日現在の都道府県別推計人口（総務省）により算出している
 ※ 直近1週間合計の新規感染者数が10人以上（人口10万対）の都道府県を表示している

新型インフルエンザ等対策有識者会議 基本的対処方針等諮問委員会（第11回）

日時：令和3年2月2日（火）
13時30分～14時30分
場所：中央合同庁舎8号館1階講堂

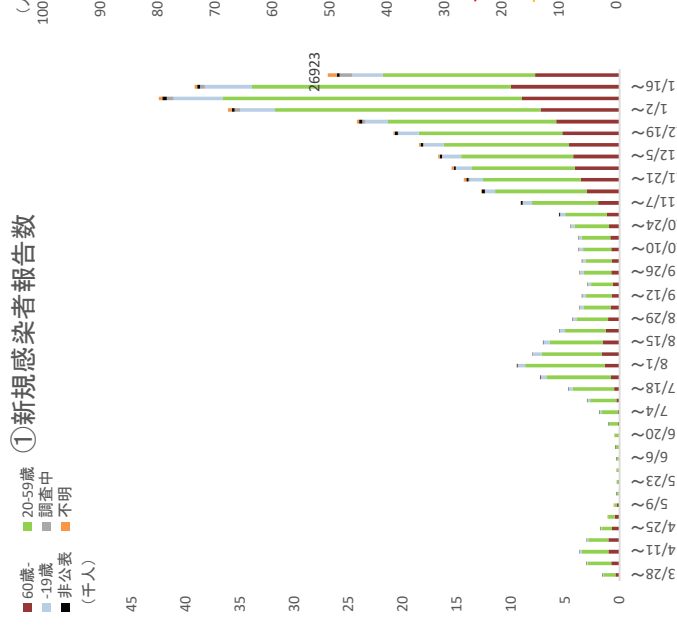
議 事 次 第

1. 開 会
2. 議 事
（1）基本的対処方針の変更について
3. 閉 会

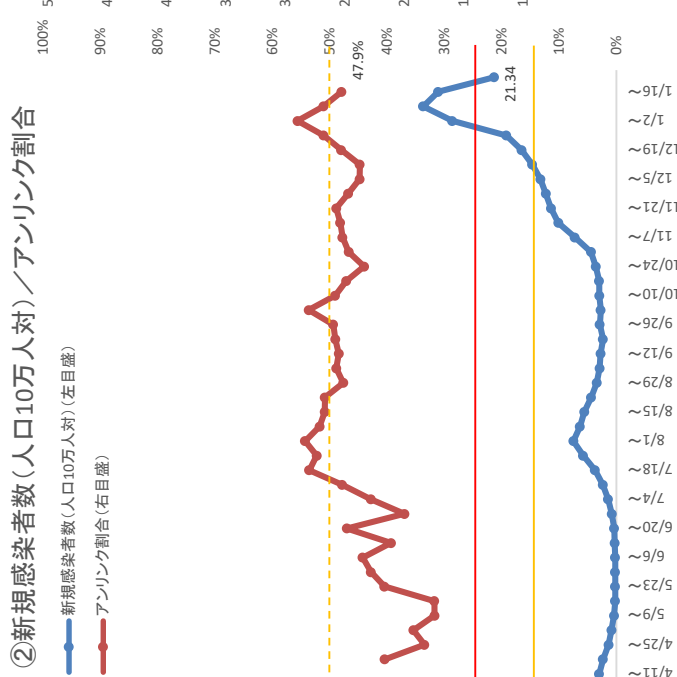
（配布資料）

- | | |
|-------|--|
| 資料1 | 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の期間延長及び区域変更（案） |
| 資料2 | 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の改訂について（概要） |
| 資料3 | 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針変更案（新旧対照表） |
| 資料4 | 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（案） |
| 参考資料1 | 直近の感染状況の評価等 |
| 参考資料2 | 緊急事態宣言下での対策の徹底・強化についての提言
（令和3年2月2日（火）新型コロナウイルス感染症対策分科会） |
| 参考資料3 | 都道府県の医療提供体制等の状況（医療提供体制・監視体制・感染の状況） |
| 参考資料4 | 直近の感染状況等 |

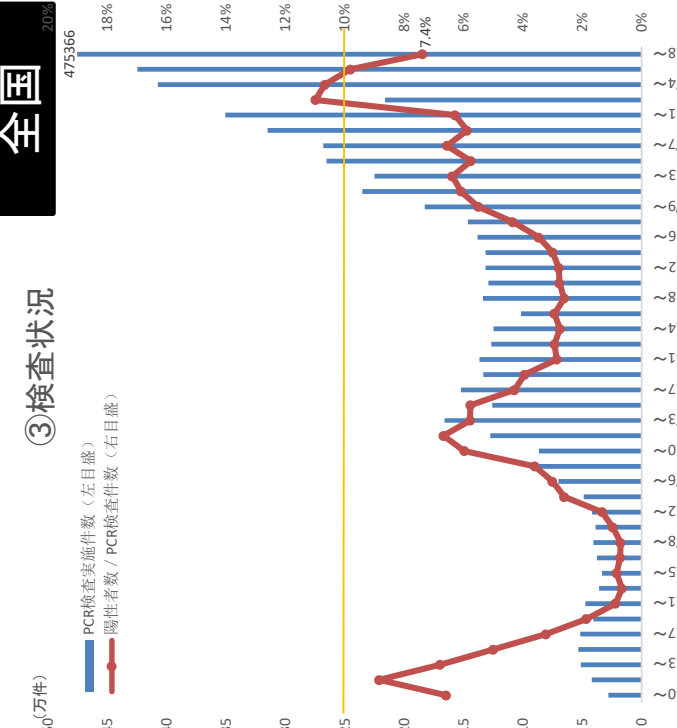
①新規感染者報告数



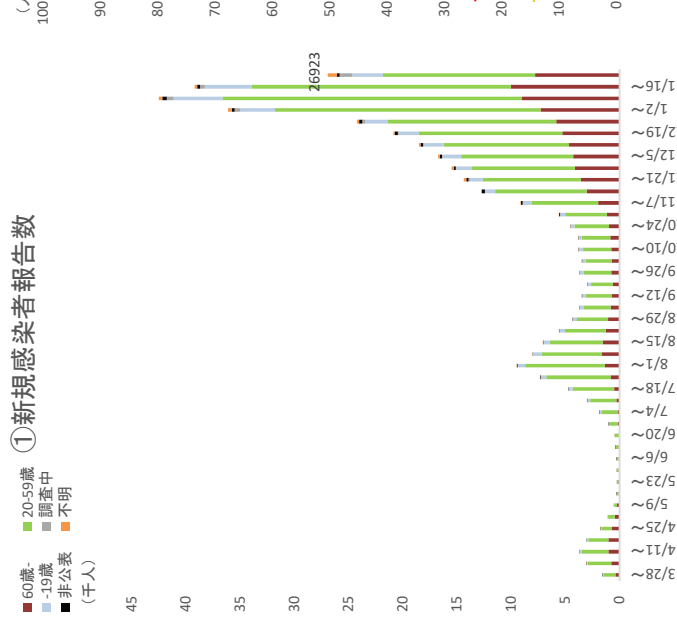
②新規感染者数(人口10万人対)／アンリンク割合



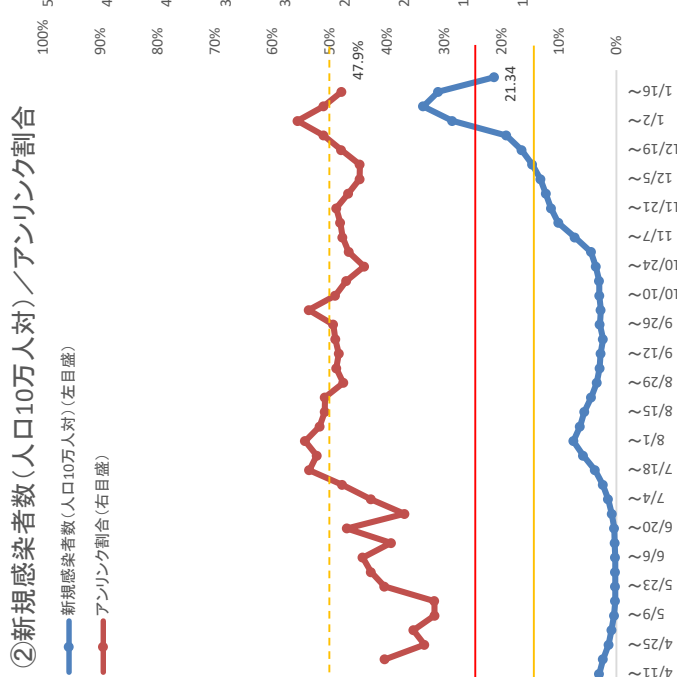
③検査状況



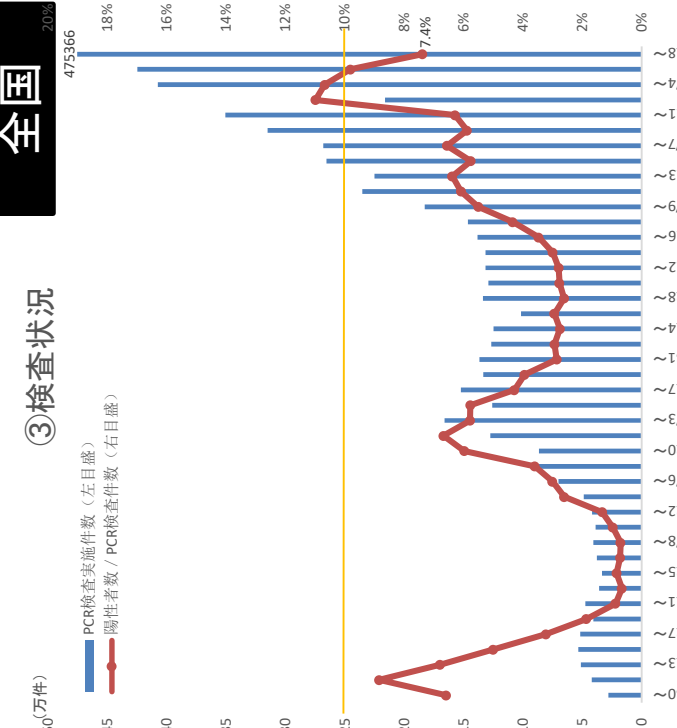
④入院者数／重症者数



⑤病床占有率



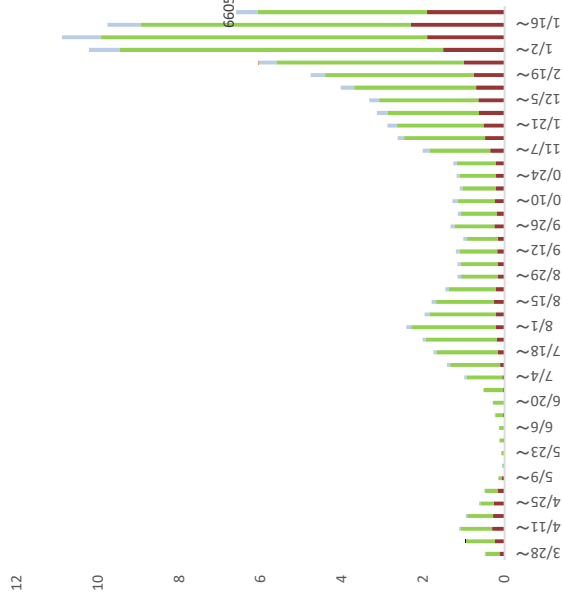
⑥療養者数



①新規感染者報告数

60歳-
-19歳
非公表
(千人)

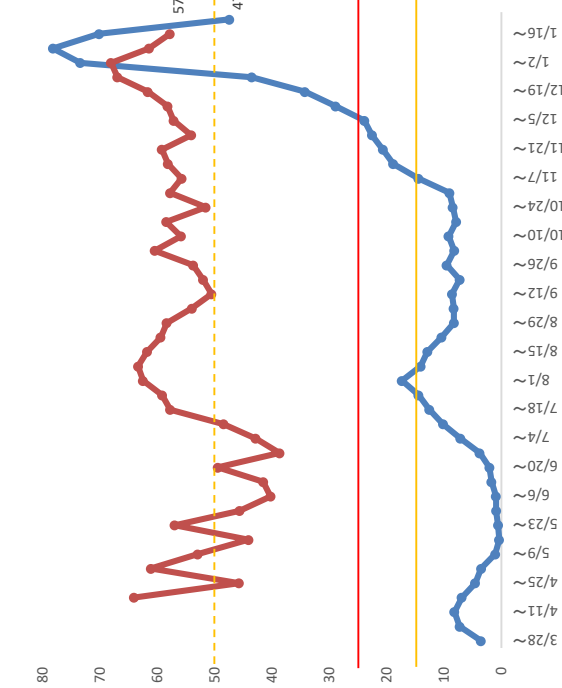
20-59歳
調査中
不明
(千人)



②新規感染者数(人口10万人対)／アリンク割合

(人)
100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0

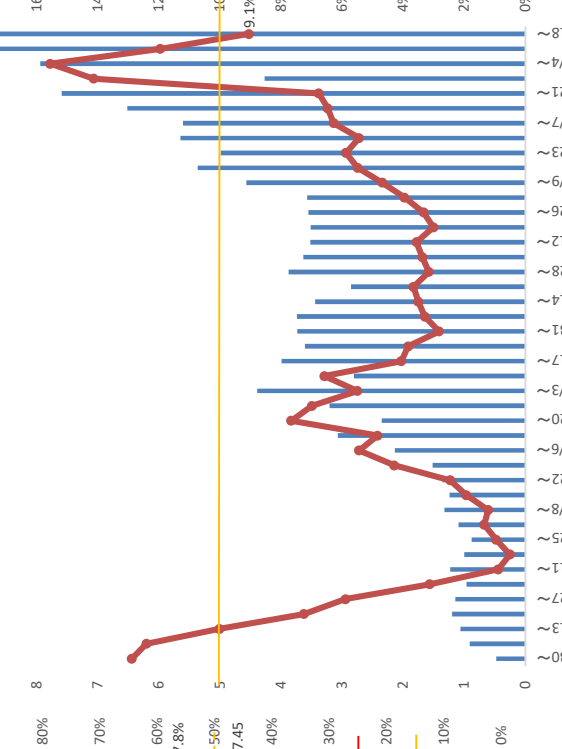
新規感染者数(人口10万人対)(左目盛)
アリンク割合(右目盛)



③検査状況

(万件)
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1
0

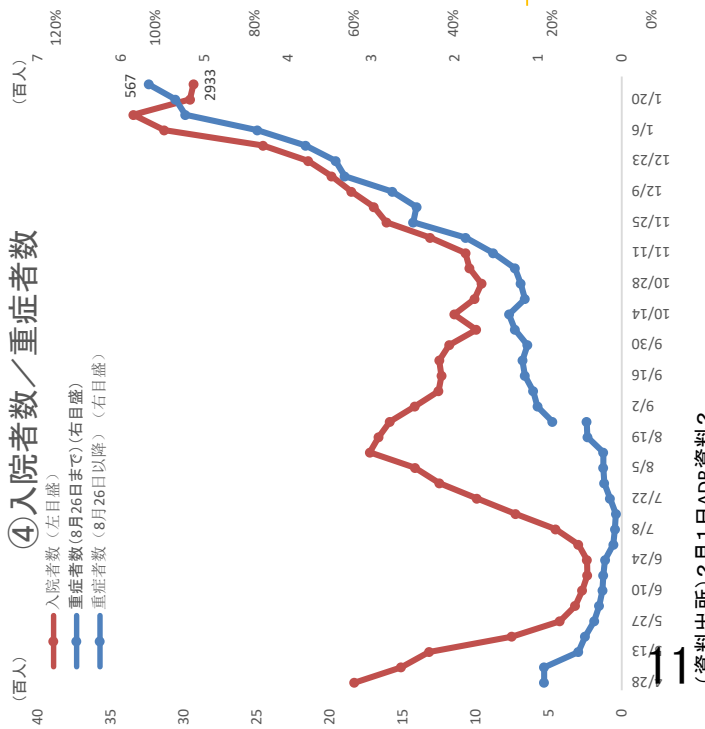
PCR検査実施件数(左目盛)
陽性者数 / PCR検査件数(右目盛)



④入院者数／重症者数

(百人)
40
35
30
25
20
15
10
5
0

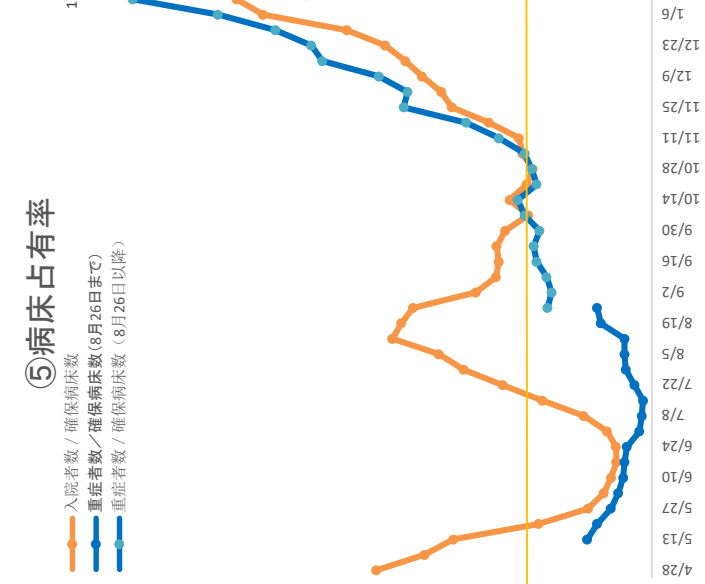
入院者数(左目盛)
重症者数(8月26日まで)(右目盛)
重症者数(8月26日以降)(右目盛)



⑤病床占有率

(千人)
25
20
15
10
5
0

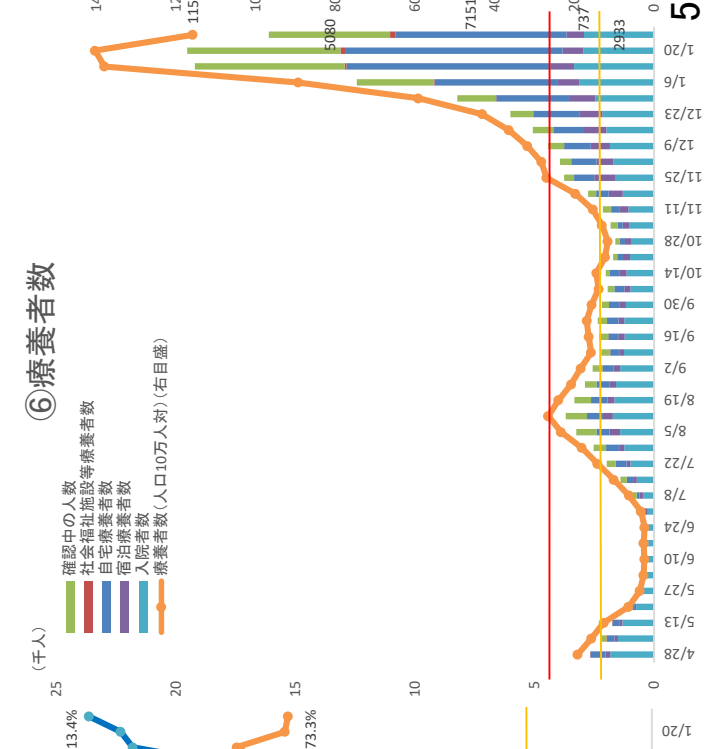
入院者数 / 確保病床数
重症者数 / 確保病床数(8月26日まで)
重症者数 / 確保病床数(8月26日以降)



⑥療養者数

(千人)
25
20
15
10
5
0

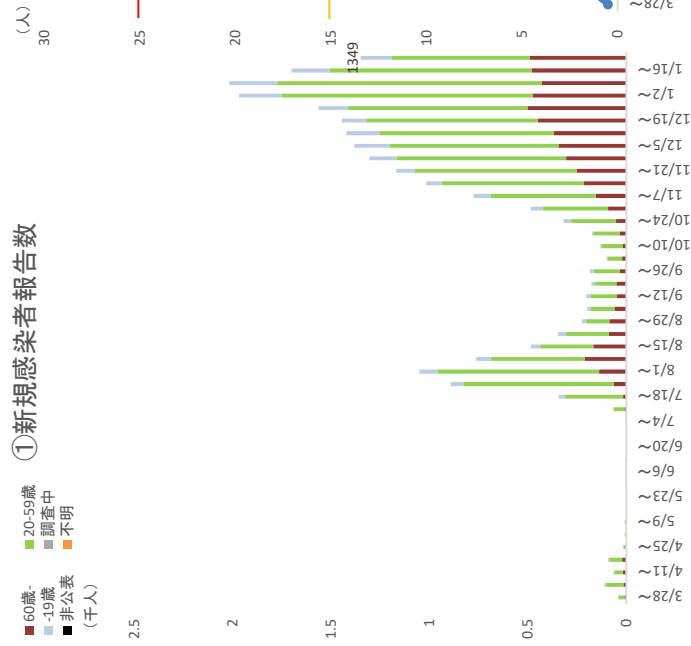
確認中の人数
社会福祉施設等療養者数
自宅療養者数
宿泊療養者数
入院者数
療養者数(人口10万人対)(右目盛)



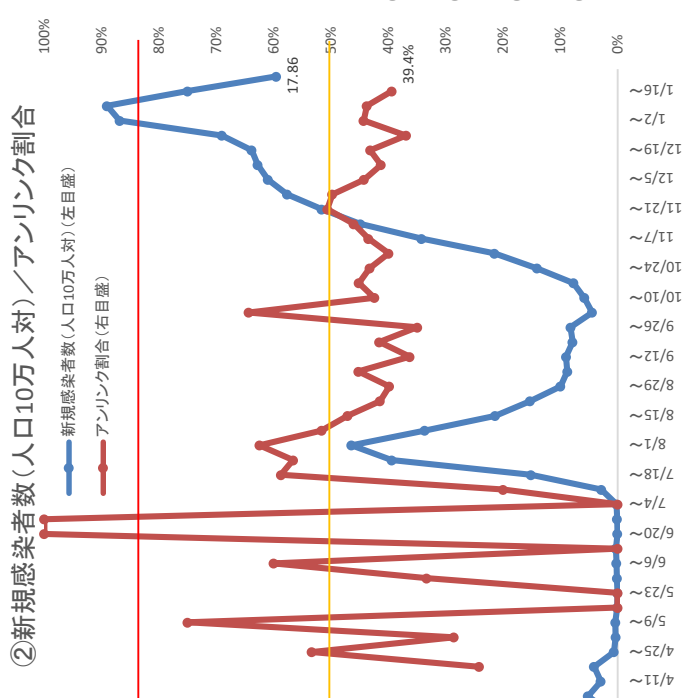
①新規感染者報告数

60歳以上
19歳以下
非公表
(千人)

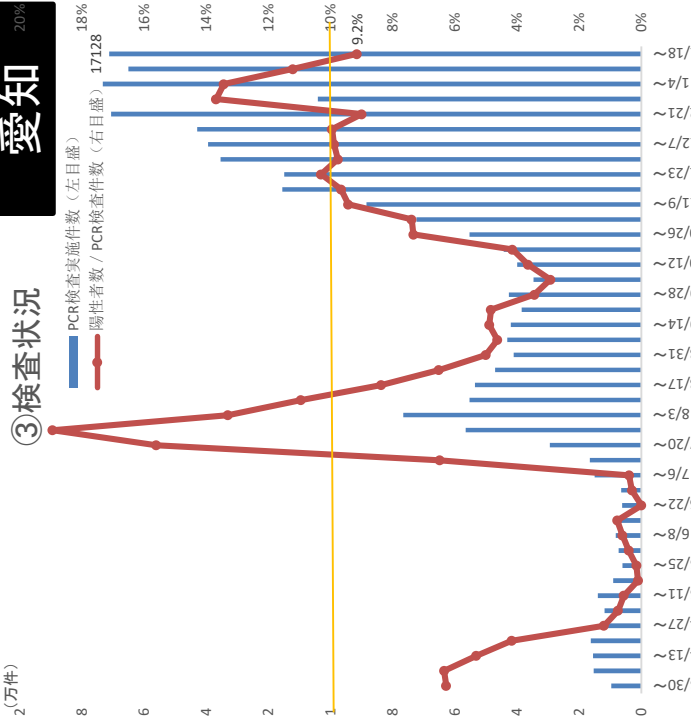
20-59歳
脚表中
不明



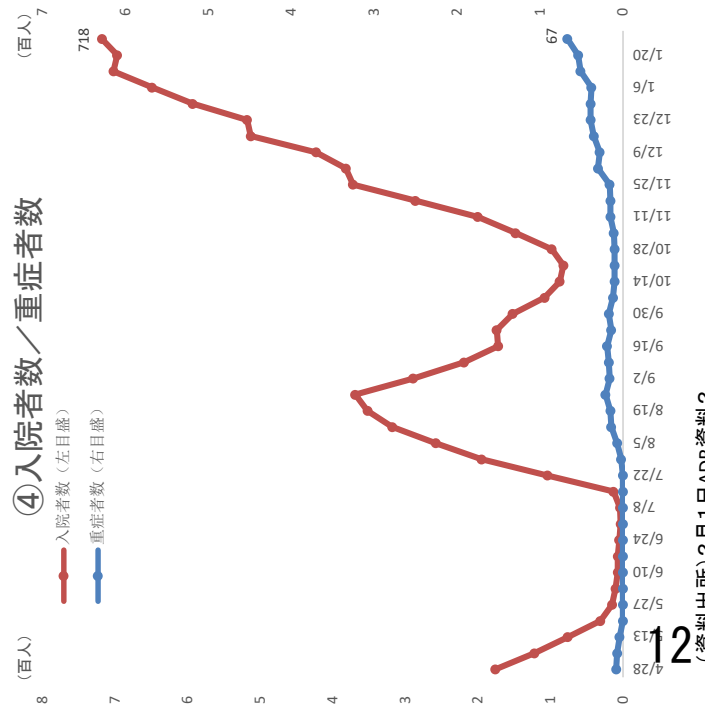
②新規感染者数(人口10万人対)／アリンク割合



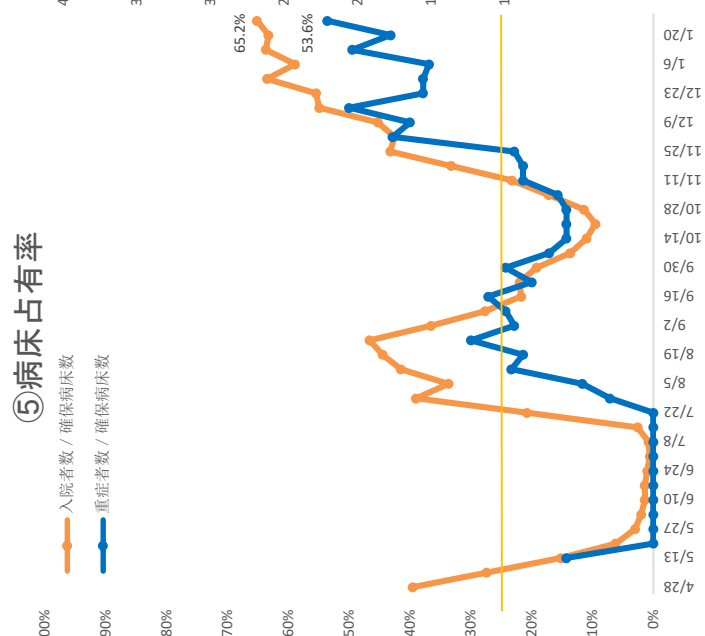
③検査状況



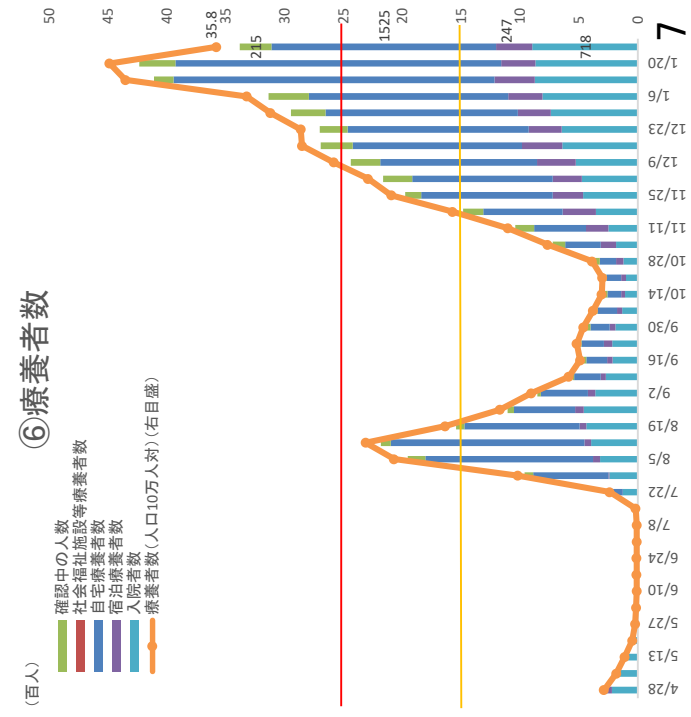
④入院者数／重症者数



⑤病床占有率



⑥療養者数



(参考) 都道府県の医療提供体制等の状況 (医療提供体制・監視体制・感染の状況)

参考資料3

【 A B C D E F G H I J 医療提供体制 監視体制 感染の状況 】

A	B	C		D		E	F	G	H	I	J				
		①病床のひっ迫具合		②療養者数								③陽性者数/ PCR検査件数 (最近1週間)	④直近1週間の陽性者 数 対人口10万人 (前週差)	⑤直近1週間 とその前1週間の比 (前週差)	⑥感染経路 不明な者の 割合
		全入院者	重症患者	確保病床 利用率 (重症患者)	確保病床 利用率 (重症患者)										
時点	2019.10	1/30	1/30	1/30	1/30	1/30	1/26	~1/24(1W)	~1/31(1W)		~1/22(1W)				
単位	千人	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)	対人口10万人 (前週差)	% (前週差)	対人口10万人 (前週差)	(前週差)	% (前週差)				
ステージⅢの指標	25%	20%	25%	20%	20%	20%	15	10%	15	1	50%				
ステージⅣの指標		50%		50%	50%	50%	25	10%	25	1	50%				
栃木県	1,934	46.6% (▲8.6)	46.6% (▲8.6)	37.0% (▲8.7)	37.0% (▲8.7)	37.0% (▲8.7)	41.3 (▲18.4)	7.2% (▲3.9)	11.12 (▲9.3)	0.55 (▲0.06)	40.8% (▲6.4)				
埼玉県	7,350	75.0% (+7.2)	68.5% (+6.6)	61.4% (▲4.3)	43.0% (▲3.0)	62.7 (▲26.9)	62.7 (▲26.9)	7.3% (▲4.0)	25.14 (▲9.8)	0.72 (▲0.15)	39.1% (▲4.6)				
千葉県	6,259	70.1% (+4.8)	63.8% (+4.4)	56.8% (▲4.5)	27.8% (▲2.2)	100.6 (+4.5)	100.6 (+4.5)	13.2% (▲2.4)	33.10 (▲13.5)	0.71 (▲0.24)	70.8% (▲10.4)				
東京都	13,921	61.3% (▲12.0)	61.3% (▲12.0)	113.0% 注 (▲0.4)	113.0% 注 (▲0.4)	115.8 (▲24.5)	115.8 (▲24.5)	9.1% (▲2.9)	42.75 (▲17.7)	0.71 (▲0.09)	57.8% (▲3.7)				
神奈川県	9,198	58.7% (▲1.0)	58.7% (▲1.0)	56.8% (+1.6)	56.8% (+1.6)	41.3 (▲28.7)	41.3 (▲28.7)	13.7% (▲5.7)	29.75 (▲22.9)	0.57 (▲0.26)	53.0% (▲5.8)				
岐阜県	1,987	53.3% (▲5.0)	53.3% (▲5.0)	27.5% (+0.0)	27.5% (+0.0)	26.1 (▲6.9)	26.1 (▲6.9)	5.4% (▲2.8)	13.89 (▲3.1)	0.82 (+0.10)	21.0% (▲9.2)				
愛知県	7,552	65.7% (+0.5)	65.7% (+0.5)	46.4% (▲7.2)	46.4% (▲7.2)	35.8 (▲9.1)	35.8 (▲9.1)	9.2% (▲2.1)	15.70 (▲5.1)	0.76 (▲0.09)	39.4% (▲4.3)				
京都府	2,583	38.5% (+0.6)	38.5% (+0.6)	18.6% (▲22.1)	18.6% (▲22.1)	56.8 (▲7.8)	56.8 (▲7.8)	8.4% (▲1.7)	26.64 (▲7.5)	0.78 (▲0.16)	38.4% (▲6.5)				
大阪府	8,809	66.1% (▲2.1)	66.1% (▲2.1)	42.4% (▲21.6)	42.4% (▲21.6)	65.1 (▲7.1)	65.1 (▲7.1)	8.4% (▲2.5)	25.75 (▲12.4)	0.68 (▲0.25)	55.1% (+0.5)				
兵庫県	5,466	76.1% (▲1.5)	76.1% (▲1.5)	56.0% (▲6.0)	54.2% (▲5.8)	33.5 (▲2.1)	33.5 (▲2.1)	11.7% (▲3.2)	19.83 (▲9.1)	0.68 (▲0.24)	40.7% (▲4.1)				
福岡県	5,104	83.5% (▲1.0)	70.4% (▲4.9)	33.6% (+1.8)	33.6% (+1.8)	55.6 (▲19.6)	55.6 (▲19.6)	6.2% (▲3.0)	21.92 (▲10.2)	0.68 (▲0.11)	41.6% (▲7.8)				

※：人口推計 第4表 都道府県、男女別人口及び人口性比-総人口、日本人口 (2019年10月1日現在)

※：療養者数は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査」による。

※：確保病床利用率は、同調査における「最終フェーズにおける即応病床(計画)数」を用いて計算し、

確保病床数が確保病床数を超える場合には、確保病床数は確保病床数と同数として計算している。

※：重症者数は、集中治療室(ICU)等での管理、人工呼吸器管理又は体外式心臓補助(ECMO)による管理が必要な患者数。

※：確保病床利用率及び確保病床利用率は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査」及び厚生労働省で把握した2021年1月30日時点(京都府は1月29日時点)の数値を用いている。

また、確保病床利用率及び確保病床利用率の前週差は、同調査(令和3年1月29日公表)との差である。

注：「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査」(令和3年1月29日公表)では、東京都の使用率について、「重症者数567は本調査のために国基準で集計されたものであり、確保病床数500と単純に比較できない。」とされている。

※：陽性者数は、感染症法に基づく陽性者数の累積(各都道府県の発表日ベース)を記載。自治体に確認を得ていない暫定値であることを留意。

※：PCR検査件数は、厚生労働省において把握している最新の値としている。掲載時以降に数値が更新されることにより、前週差が前週公表の値との差と一致しない場合がある。

※：各数値は、資料掲載時点において把握している最新の値としている。掲載時以降に数値が更新されることにより、前週差が前週公表の値との差と一致しない場合がある。

※：⑤と⑥について、分母が0の場合は、「-」と記載している。

※：2020年12月18日以降に新たに厚生労働省が公表している岡山県のアンパング割合については、木曜日から水曜日までの新規感染者について翌週に報告されたものであり、他の都道府県と対象の期間が異なる点に留意。

岐阜県の医療提供体制等の状況

基本的対処方針等諮問委員会 2月2日公表分

【 医療提供体制 【監視体制】 感染の状況 】

A	B	C ①病床のひっ迫具合			D	E	F	G	H	I	J
		確保病床 利用率	確保想定 病床利用率 【重症患者】	確保病床 利用率 【重症患者】							
時点	2019.10	1/30	1/30	1/30	1/30	1/26	~1/24(1W)	~1/31(1W)	~1/22(1W)		
単位	千人	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)	対人口10万人 (前週差)	% (前週差)	対人口10万人 (前週差)	% (前週差)		
ステージⅢの指標		25%	20%	25%	20%	15	10%	15	50%	1	50%
ステージⅣの指標			50%		50%	25	10%	25	50%	1	50%
岐阜県	1,987	53.3% (▲5.0)	53.3% (▲5.0)	27.5% (+0.0)	27.5% (+0.0)	26.1 (▲6.9)	5.4% (▲2.8)	13.89 (▲3.1)	21.0% (▲9.2)	0.82 (+0.10)	

※岐阜県試算 2月3日

時点	2019.10	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	~2/2(1W)	~2/3(1W)	~2/2(1W)		
単位	千人	%	%	%	%	対人口10万人	%	対人口10万人	%		
ステージⅢの指標		25%	20%	25%	20%	15	10%	15	50%	1	50%
ステージⅣの指標			50%		50%	25	10%	25	50%	1	50%
岐阜県	1,987	44.6%	44.6%	21.6%	21.6%	21.1	4.2%	11.63	15.6%	0.72	

※厚生労働省から各指標の計算方法は示されていないため、厚生労働省公表数値と異なる場合がある。